

中央図書館基本構想基礎調査業務 来館者調査概要版

平成30年3月
堺市

調査実施の概要

- 調査目的 広く市民のニーズや要望等について調査・分析することで、「中央図書館基本構想（図書館サービス機能）」を取りまとめるための基礎資料とすることを目的に実施した。

来館者調査

- 調査対象者 堺市の図書館（下記12館）に来館した12歳以上の男女
対象図書館：中央図書館、堺市駅前分館、中図書館、東百舌鳥分館、東図書館、初芝分館、西図書館、南図書館、梅分館、美木多分館、北図書館、美原図書館

- 調査手法 来館者による自記式調査

- 回収数 2,743サンプル

（中央図書館）	（中央図書館（こども室））	堺市駅前分館	中図書館	東百舌鳥分館	東図書館	初芝分館	西図書館	南図書館	梅分館	美木多分館	北図書館	美原図書館	計
267	82	270	271	111	253	149	267	257	149	150	254	263	2743

- 調査実施期間 2017年11月30日（木）
※北図書館のみ 2017年12月13日（水）に実施

【報告書記載の注意点】

- ・図表中の「n」は、各設問の集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「n」を集計母数として算出している。
- ・比率は小数点第2位を四捨五入した小数点第1位までを表示している。そのため、1つだけ回答を求める設問（単一回答設問）でも、四捨五入の関係上、各選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
1人の回答者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、比率の合計は、100.0%を超える場合がある。
- ・各設問における「不明」とは、回答がなかった無回答をさすものである。

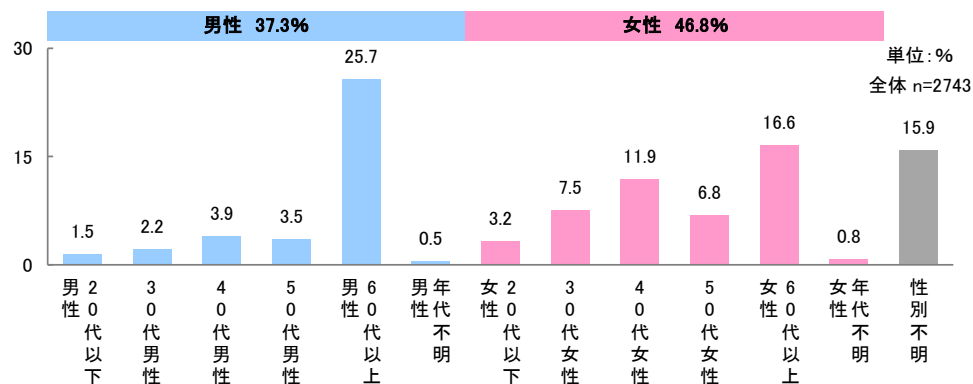
回答者属性

- アンケート回答者の居住区構成は「堺区（9.7%）」「中区（10.9%）」「東区（12.5%）」「西区（11.2%）」「南区（17.4%）」「北区（14.9%）」「美原区（5.7%）」である。（①）
- 性別×年代は、「60代以上男性（25.7%）」の比率が最も高く、次いで、「60代以上女性（16.6%）」「40代女性（11.9%）」「30代女性（7.5%）」である。（②）
- 職業は、「無職（27.3%）」の比率が最も高く、次いで「家事専業（21.7%）」「会社員・公務員・団体職員（12.7%）」「パート・アルバイト（10.6%）」である。（③）

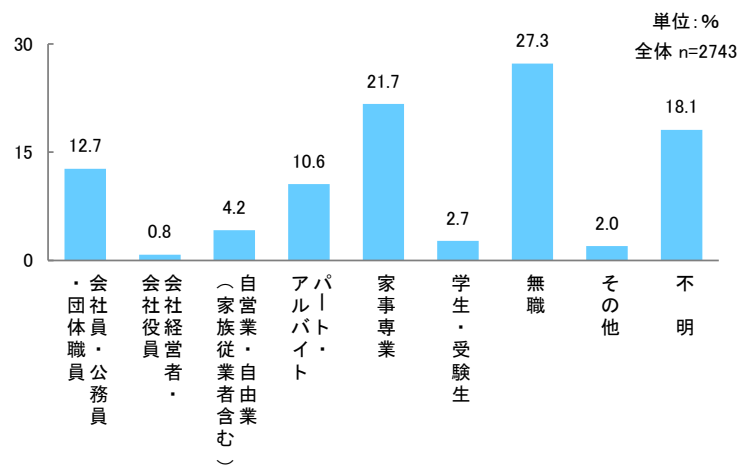
① 居住区（自由記述回答）



② 性別×年代（単一回答）

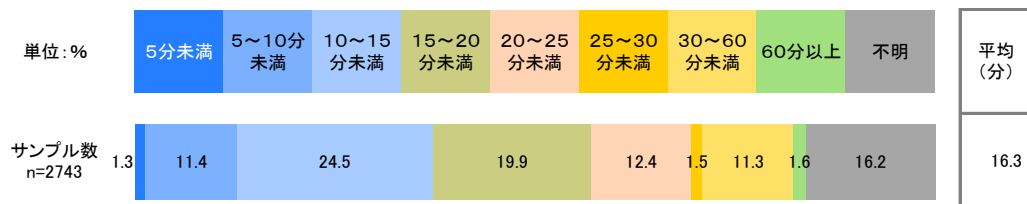


③ 職業（単一回答）

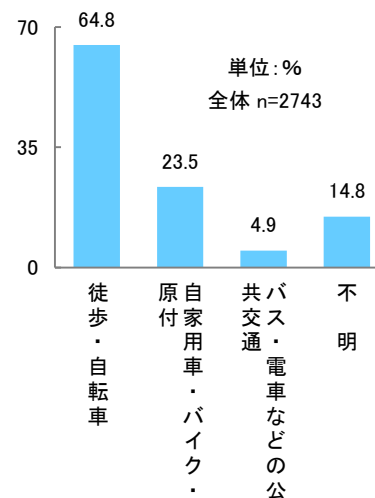


- 堺市の図書館までの所要時間は、「10～15分未満（24.5%）」の比率が最も高く、次いで「15～20分未満（19.9%）」「20～25分未満（12.4%）」である。
（④）
- 堺市の図書館までの移動手段は、「徒歩・自転車（64.8%）」の比率が最も高く、次いで「自家用車・バイク・原付（23.5%）」「バス・電車などの公共交通（4.9%）」である。
（⑤）

④堺市の図書館までの所要時間（単一回答）



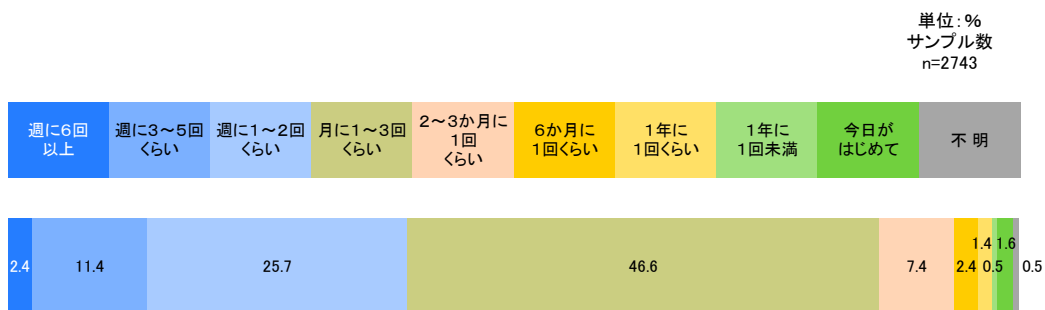
⑤移動手段（複数回答）



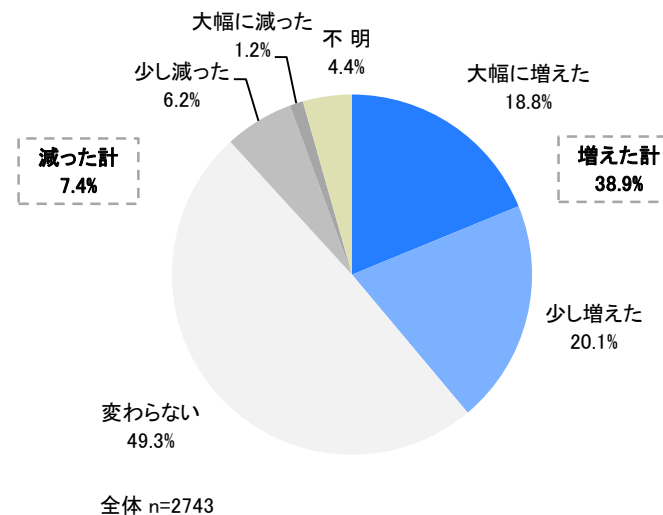
調査結果

- 図書館の利用頻度は、「月に1～3回くらい（46.6%）」の比率が最も高く、次いで「週に1～2回くらい（25.7%）」「週に3～5回くらい（11.4%）」である。
- 直近5年間における利用の変化は、「大幅に増えた（18.8%）」「少し増えた（20.1%）」の比率をあわせた増えた計が38.9%、「大幅に減った（1.2%）」「少し減った（6.2%）」をあわせた減った計が7.4%である。増えた計が減った計を大きく上回っている。

問1. 普段、こちらの図書館をどれくらい利用していますか。（単一回答）

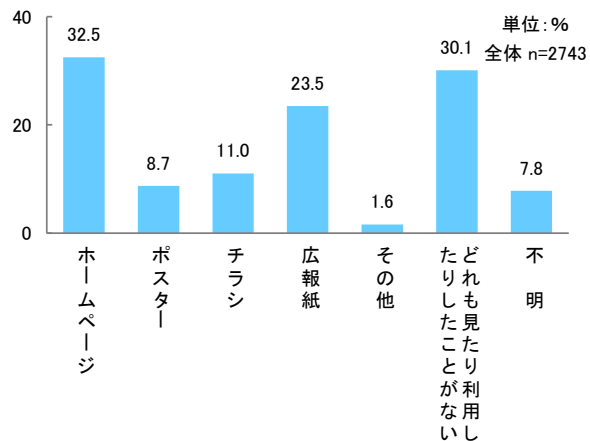


問2. 5年前と比べて、図書館の利用に変化はありましたか。（単一回答）

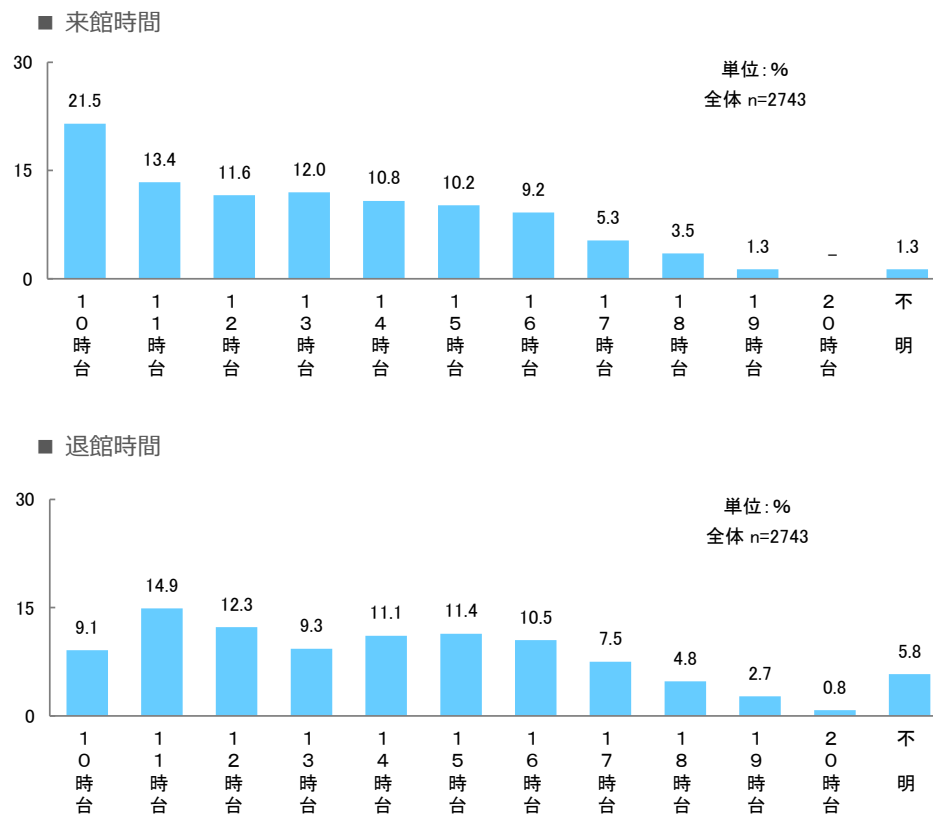


- 図書館からのお知らせや情報を見たことのある媒体は、「ホームページ（32.5%）」の比率が最も高く、次いで「広報紙（23.5%）」である。「どれも見たり利用したりしたことがない」も30.1%みられた。
- 図書館への来館時間は、「10時台（21.5%）」の比率が最も高く、11時台以降ゆるやかに低下している。それに対して、図書館の退館時間は、「10時台」は9.1%に留まり、「11時台（14.9%）」の比率が最も高い。

問3. 図書館からのお知らせや情報で、見られたり、利用されたりしたことのあるものをお聞かせください。
(複数回答)

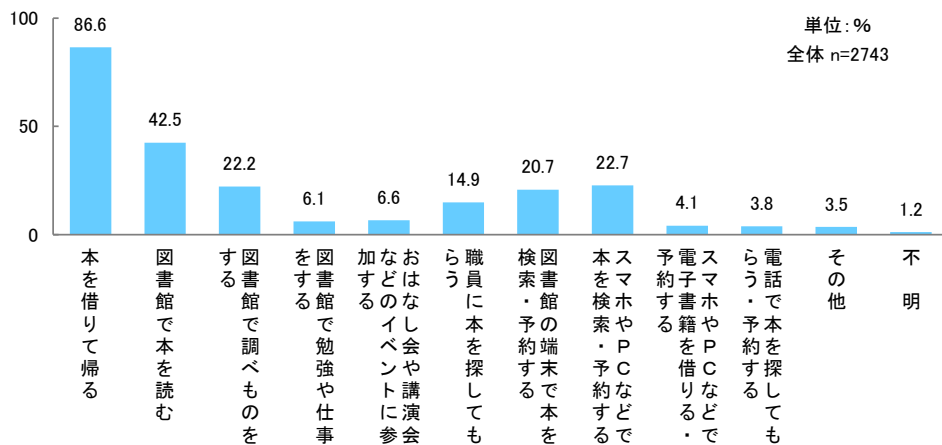


問4. 本日は何時に来られましたか。また何時に帰る予定ですか。 (実数回答)



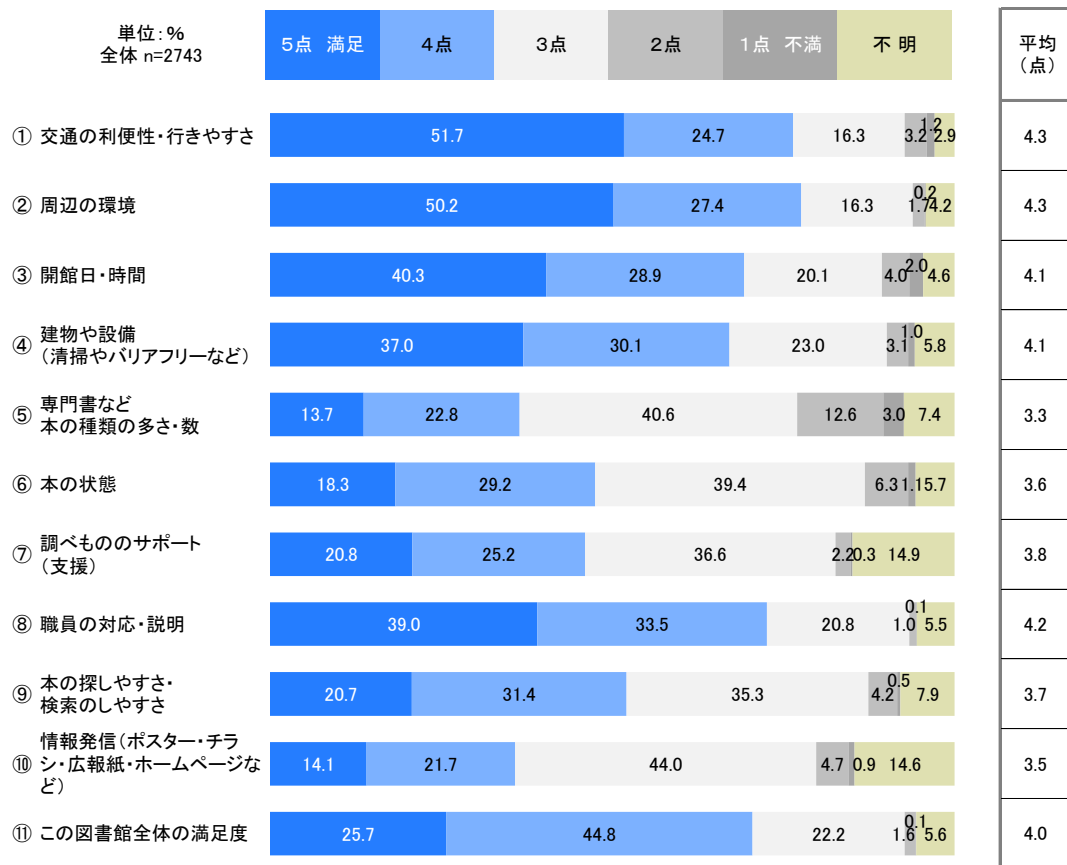
- 図書館のサービスで利用率が20%を超える項目は、「本を借りて帰る（86.6%）」「図書館で本を読む（42.5%）」「スマホやPCなどで本を検索・予約する（22.7%）」「図書館で調べものをする（22.2%）」「図書館の端末で本を検索・予約する（20.7%）」である。

問5. 利用することがある図書館のサービスをすべてお聞かせください。（複数回答）

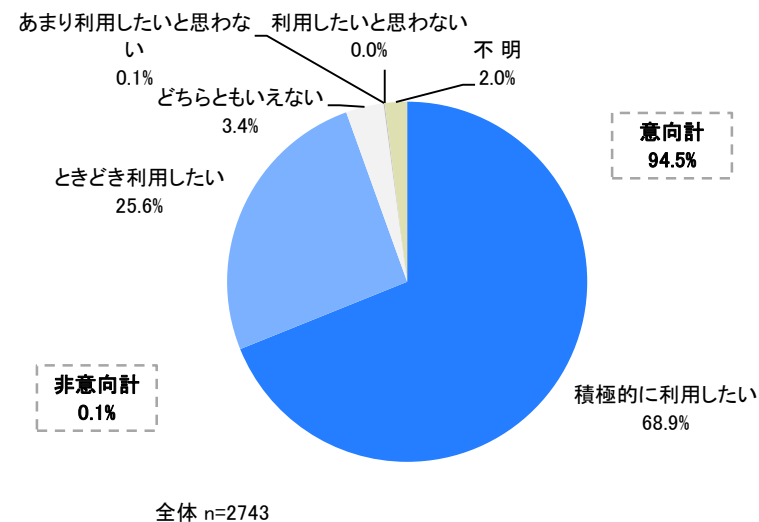


- 図書館に関する総合的な満足度は5点が25.7%、4点が44.8%、3点が22.2%、2点が1.6%、1点が0.1%であり、平均は4.0点である。項目別の満足度平均をみると「②周辺の環境（4.3点）」「①交通の利便性・行きやすさ（4.3点）」「⑧職員の対応・説明（4.2点）」「③開館日・時間（4.1点）」「④建物や設備（4.1点）」は4点を超えており、「⑤専門書など本の種類の多さ・数（3.3点）」は比較的満足度が低めである。
- 今後、堺市の図書館について、「積極的に利用したい（68.9%）」「ときどき利用したい（25.6%）」をあわせた94.5%が利用意向を示している。

問6. こちらの図書館について、どの程度満足していますか。以下の①～⑪について、それぞれ横方向にひとつずつお選びください。（単一回答）

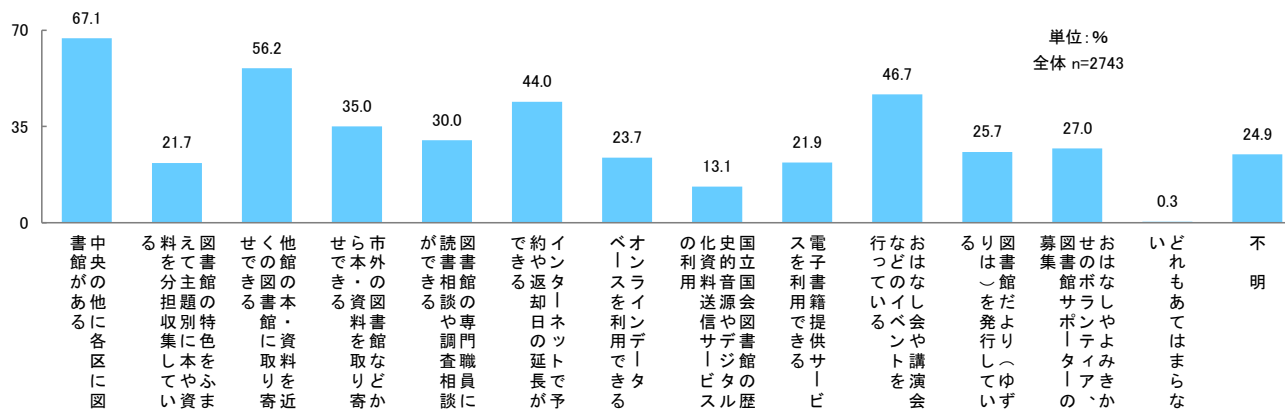


問7. 今後、堺市の図書館をどの程度利用したいと思いますか。（単一回答）

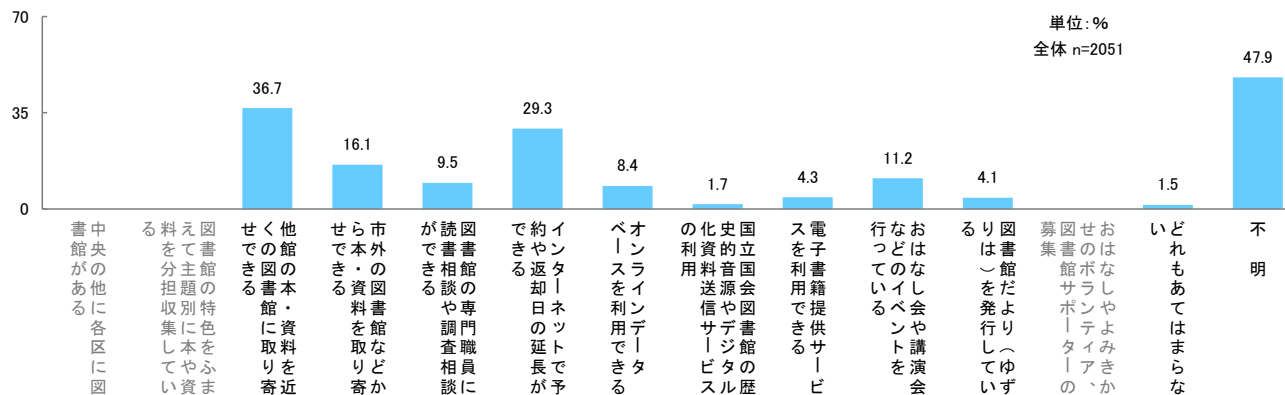


- 堺市の図書館のサービスに関する認知率は、「中央の他に各区に図書館がある（67.1%）」で最も高く、次いで「他館の本・資料を近くの図書館に取り寄せできる（56.2%）」「おはなし会や講演会などのイベントを行っている（46.7%）」「インターネットで予約や返却日の延長ができる（44.0%）」の順である。また、「図書館の特色をふまえて主題別に本や資料を分担収集している（21.7%）」「国立国会図書館の歴史的音源やデジタル化資料送信サービスの利用（13.1%）」は認知率が低めである。
- 堺市の図書館のサービスの利用率は、「他館の本・資料を近くの図書館に取り寄せ（36.7%）」で最も高く、次いで「インターネットで予約や返却日の延長（29.3%）」「市外の図書館などから本・資料を取り寄せ（16.1%）」である。

問8. 堺市の図書館のサービスについて、次の①～③にあてはまるものをそれぞれ縦方向にすべてお聞かせください。 (1) 知っているもの（複数回答）

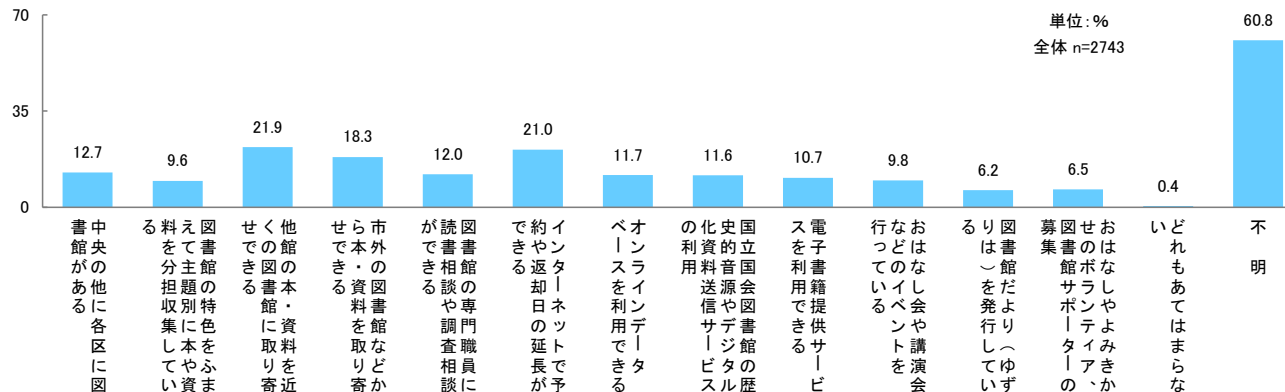


問8. 堺市の図書館のサービスについて、次の①～③にあてはまるものをそれぞれ縦方向にすべてお聞かせください。 (2) 利用したことがあるもの（複数回答）【知っているサービスがある回答者ベース】



- 堺市の図書館のサービスで魅力を感じるものは、「他館の本・資料を近くの図書館に取り寄せできる（21.9%）」の比率が最も高く、次いで「インターネットで予約や返却日の延長ができる（21.0%）」「市外の図書館などから本・資料を取り寄せできる（18.3%）」である。

問8. 堺市の図書館のサービスについて、次の①～③にあてはまるものをそれぞれ縦方向にすべてお聞かせください。（3）魅力を感じるもの（複数回答）



- 今後充実して欲しい本や資料のジャンルは、「小説・文芸（42.3%）」が最も高く、次いで「健康・医療（21.7%）」「旅行（19.5%）」である。

問9. こちらの図書館に充実してほしいと思う本や資料のジャンルをお聞かせください。（複数回答）

